



第47回 JBCF 全日本トラックチャンピオンシップ



この事業は、競輪の補助を受けて実施します。<http://ringring-keirin.jp>

JBCFトラックシリーズ 第3戦

【大会実施要項】

主 旨 本大会は、自転車競技の知識と理解を深め、我が国の自転車競技スポーツの進歩を促し、青少年の心身の鍛練と高揚をはかるとともに、次代を担う競技者の育成並びに海外には数多い屋内板張り250mトラックを経験することにより、世界に通用する競技者の輩出を目的として開催する。

主 催 JBCF（一般社団法人 全日本実業団自転車競技連盟）

後 援 経済産業省（公財）日本自転車競技連盟

（予定）（一財）日本自転車普及協会（一財）自転車産業振興協会（一社）日本競輪選手会

協 力（一財）日本サイクルスポーツセンター 日本競輪学校

（一社）静岡県自転車競技連盟 東京都自転車競技連盟 株式会社 フィリップス エレクトロニクス ジャパン

ツアー協賛 株式会社シマノ 株式会社パールイズミ プリチストンサイクル株式会社 パナソニックサイクルテック株式会社 一般社団法人自転車協会 広友レンティア株式会社

1.開催日 2016年10月2日(日)

2.開催地 伊豆ベロドローム／屋内板張り250mトラック
静岡県伊豆市大野1826番地 TEL0558-79-0001 FAX0558-79-0518
日本サイクルスポーツセンター
<http://www.csc.or.jp/>

3.スケジュール

10月2日(日)

内容	開始	終了	場所	対象者		
				選手	チーム代表者	コミッセル
開場（役員）	6:30					●
開場（チーム）	7:00		駐車場側の選手入口			
選手受付/ ライセンスコントロール	7:10	7:40	インフィールド内	●	●	
監督会議	7:40	7:55	1階会議室		●	
役員打合せ	7:55	8:10	1階会議室			●
練習時間	7:30	8:30		●		
開会式	8:35	8:40		●		
競 技	8:40	17:00予定		●		
表彰式	昼休憩時		ステージ	●		
表彰式/閉会式	競技終了後		ステージ	●	●	

- 練習は、安全に十分に配慮し、各チーム代表者の責任において行ってください。
- 選手受付は出来るだけチーム代表者が取りまとめて行ってください。
- チーム代表者は必ず監督会議に出席してください。
- 当日の受付場所はインフィールド内で行います。前日受付はいたしません。大会当日のみです。
- やむを得ず欠場する場合は、事前に欠場届（HPよりDL）を提出すること。

4.競技種目

※エントリー数によっては実施しない種目もある。

男子（「J」内は、Webシステム申し込みの際の略号に対応）

- 「SP」スプリント
 - 「TT」1kmタイムトライアル
 - 「IP」4km個人追抜競走※ジュニアは3km
※2kmを過ぎた時点でタイムが2'40"超の場合は、レースを中止することもある。
 - 「KE」ケイリン
 - 「SC」スクラッチ（決勝10km。エントリー人数により予選を行う場合がある）
 - 「PR」ポイントレース（決勝30km。エントリー人数により予選を行う場合がある）
 - 「TP」チームパーシュート（同一チームより2チーム以上編成可とする）
 - 「TS」チームスプリント、1チーム3名の編成（同一チームより2チーム以上編成可とする）
- 注1 「TP」「TS」はエントリー締切後、同一チームからの編成チーム数を制限する場合がある

女子（「J」内は、Webシステム申し込みの際の略号に対応）

- 「TT」500mタイムトライアル
- 「IP」3km個人追抜競走※ジュニアは2km
※1.5kmを過ぎた時点でタイムが2'15"超の場合は、レースを中止することもある。
- 「KE」ケイリン
- 「SC」スクラッチ（決勝8km。エントリー人数により予選を行う場合がある）

- (5) 「TP」チームパーシュート（同一チームより2チーム以上編成可とする）
- (6) 「TS」チームスプリント、1チーム2名の編成（同一チームより2チーム以上編成可とする）

5.参加資格

- (1) 2016年度JBCF登録完了者、及び2016年度JCFライセンス所持者。
(注) JBCF登録の前提となる(公財)日本自転車競技連盟の競技者ライセンス取得の申請済みで、発行が未済の場合、申請を示書類（申請控え等）を大会受付に提示し、JBCFが認定した場合は、本大会への参加が可能。
- (2) JBCF登録以外の女子については都道府県自転車競技連盟、学生自転車競技連盟の推薦があるものは出場を認める。この場合の申し込みは所属学校の承諾を得てJBCF登録チームを通じて申し込むこと。また、所属大学校名を明記のこと。ただし所属先のない女子選手については、JBCF特設チームの「JBCF-J Feminin」の所属選手として登録を行う事ができる。
- (3) JBCFが特に認めたもの。

6.参加条件

- (1) 参加者は、交通費、宿泊費、飲食費など各自負担とする。
- (2) 男子の参加種目数の制限は2種目までとするが、団体種目を含む場合は3種目までとする（ただし団体種目の補欠は数に含めない）。
女子は制限なし。各種目の間隔がせまい場合があるので注意してエントリーすること。
- (3) 各種目に下記のように定員を設け、定員をオーバーした場合は下記の順番で優先的に出場を認める。
 - i. 2016年度JBCF東西トラック大会・記録会入賞者
 - ii. 2015年度JBCF全日本トラック大会入賞者
 - iii. 2015年度JBCF東西トラック・記録会入賞者
 - iv. 2016年度他自転車競技連盟主催大会の成績優秀者（公式記録のみ）
 - v. 2016年度JBCF東西トラック大会出場者（成績上位順）

定員リスト	種目	定員
男子	①スプリント：S P	予選30名
	②1 Kmタイムトライアル：T T	決勝30名
	③4 Km個人追抜競走：I P	予選20名
	④ケイリン：K E	予選4組×5～7名
	⑤スクラッチ：S C	決勝30名
	⑥ポイント・レース：P R（30 Km）	決勝30名
	⑦4 Km団体追抜競走：T P	予選6チーム
	⑧チームスプリント：T S	予選6チーム

- (4) エントリー締切後、エントリーの変更、追加、キャンセルは認めない。
- (5) 理由無き欠場はペナルティーの対象とする。欠場する場合はその旨を申請すること。

7.表彰

- (1) 個人男子 1位～6位 賞状・賞品（3位以内はメダル）
 - (2) 個人女子 1位～3位 賞状・賞品（3位以内はメダル）
 - (3) 団体男子 1位～3位 賞状・賞品（3位以内はメダル）
 - (4) 団体女子 1位～3位 賞状・賞品（3位以内はメダル）
- ※出走人数が個人種目は5名以下、団体種目は5チーム以下の場合、1位のみ表彰とする。
※入賞対象者は大会終了時までに受付にて賞品を受け取る。受け取り忘れの選手への対応は一切しない。

8.大会競技規則

日本自転車競技連盟の競技規則集 JBCF GUIDE 2016-2 <競技編> 大会特別規則により運営する

参加資格、競技方法、競技規則詳細、大会表彰については、『JCF競技規則集』及び『JBCF GUIDE 2016-2<競技編>』に基づく。必ず、目を通して大会に備えること。
『JCF競技規則集』（JCFサイト内）※最新版を使用する。
http://jcf.or.jp/?page_id=218
『JBCF GUIDE 2016-2<競技編>』（JBCFサイト内）
<http://www.jbcf.or.jp/membership/index.html>

9.注意事項

- (1) 疾病および負傷について応急処置は取るが以後の治療は本人負担となるので健康保険証等必要書類を持参すること。
- (2) 参加競技者は必ずライセンスを持参し受付時提出のこと。
ライセンス忘れについては、「JCFの競技規則、第2章、第5条、2.(2)」対象となり、参加費と同額のペナルティを支払えばそのレースの出走を許可する（ただし選手の登録状況を大会受付で調べるので写真付きの身分証を提示すること）。
- (3) ジュニア、ユースの選手のギア規制は、JCFの2016年競技規則に準ずる。
（ジュニア、U17、U15、U13に該当する選手は各ギア規制に準ずること）
- (4) 参加競技者は、連盟登録のユニフォーム着用での出走を義務づける。
- (5) ボディナンバーが1枚の競技は腰の位置に1枚、ボディナンバーが2枚の競技は、腰の位置に2枚、背骨を挟んで左右に5cm離して装着すること。
- (6) チーム関係者は受付にて関係者パスを渡します。パスの無い方はインフィールドに立ち入れません。
- (7) 全てのカテゴリにおいて自転車検査を行う、規則に準じた機材で検査を受けること。
- (8) 表彰は、競技中に行うので放送に注意し入賞者は準備すること。（対象者はチームジャージを着用のこと）
- (9) 入賞者が無断で表彰式に参加しないときには、ペナルティ*を科す。事前連絡、代理は除く。
- (10) トラック内では、絶対にスパイクシューズ、ピンディングシューズで歩行しないこと。
- (11) チーム関係者は受付にて関係者パスを渡します。パスの無い方はインフィールドに立ち入れません。
- (12) 場内を散らかさないためごみ袋を持参し持ち帰ること。
- (13) 大会終了後は速やかに退場すること。
- (14) 通常の周回練習はステイヤーラインより上側を走行し、スプリンターレーンは高速走行のために空けておくこと。また危険防止のため、ブルーバンドをゆっくり走行することは禁止する。

- 10.ドーピング検査について
- (1) 本競技会は、日本ドーピング防止規程に基づくドーピング・コントロール対象大会である。
 - (2) 本競技会参加者は、競技会にエントリーした時点で日本アンチ・ドーピング規程にしたがい、ドーピング・コントロール手続の対象となることに同意したものとみなす。
 - (3) また、未成年者(20歳未満)においては、上記のドーピング検査の実施についての親権者の同意書の日本自転車競技連盟への事前提出が必要である。
 - (4) 本競技会参加者は、本競技会において行われるドーピング検査（尿・血液等検体の種類を問わず）を拒否又は回避した場合、検査員の指示に従わない場合、帰路の移動等個人的諸事情によりドーピング検査手続きを完了することができなかった場合等は、アンチ・ドーピング規則違反となる可能性がある。アンチ・ドーピング規則違反と判断された場合には、日本アンチ・ドーピング規程に基づき制裁等を受けることになるので留意すること。
 - (5) 日本アンチ・ドーピング規程の詳細内容およびドーピング検査については、公益財団法人日本アンチ・ドーピング機構のウェブサイト（<http://www.playtruejapan.org>）にて確認すること。

11.ポイント

レースレイティング「TA」とする。

レースレイティング	1位	2位	3位	4位	5位	6位	7位
TA（個人種目）	100	70	40	30	20	15	5
TA（団体種目）	50	35	20	15	10	5	2

【ロードポイントへの反映について】

- * 団体種目に於いて予選決勝で異なる選手が出走した場合、決勝出場選手にポイント付与する。
- * ポイントを、P,E1の選手には個人ロードポイントに加算できる（該当チームは申請すること）。但し出走6名（3チーム）以下の場合、ロードポイントに加算しない。
表中のポイントは、E1クラスタ選手に付与する。P1選手には2倍のポイントを付与する。
- * ロードポイント付加対象種目は、スプリント、チームスプリント、ケイリンは除く。
- * 尚、チームパーシュートでは、P,E1,とE2,E3選手との混成チームでの参加は可とするが、個人ロードポイントへの付与は、P,E1の選手と同走の場合でもE2,E3の選手へは付与されない。

12.参加料(税込)

男子 7,560円/名
女子 3,240円/名

13.申込方法

JBCF公式ホームページから申込み（エントリー）を行ってください。

<http://jbcf.or.jp/prg/RaceSelect6.php>

TP、TSは2チーム以上エントリーする場合、そのグループ分けをA～Eで選択すること（1チームのみのエントリーは"A"を選択SP、TT、IPはそれぞれエントリー時に、下表によりベストタイム1～5を選択すること。

種目	男女	ベストタイム				
		1	2	3	4	5
SP スプリント	男	10"50以内	11"00以内	11"50以内	12"00以内	12"50以内
TT 1kmタイムトライアル	男	1'08"以内	1'09"以内	1'10"以内	1'11"以内	1'15"以内
IP 4km個人追抜き	男	4'40"以内	4'50"以内	5'00"以内	5'10"以内	5'20"以内
TT 500mタイムトライアル	女	37"00以内	38"50以内	40"00以内	42"00以内	44"00以内
IP 3km個人追抜き	女	4'00"以内	4'05"以内	4'10"以内	4'20"以内	4'30"以内

14.支払い方法

レース参加料はチーム単位で、事前にお届け出済みの郵貯口座から、指定日に引落しいたします。なお、期日に引落しができなかった場合は、今後の大会に出走いただけない場合もございます。必ず引落日前日までに口座残高のご確認をお願いいたします。

15.申込み締切日
&参加料引落日

9月11日（日）エントリー締切
10月31日（月）参加料引落日※レース参加料の返金はいたしません。

16.エントリーに
関する問い合わせ先

JBCF事務局 本部
info@jbcf.or.jp
※問い合わせは、全てEメールとします。（平日 9:00～17:00）

17.レースに関する
問い合わせ先

JBCF事務局 事業部
race@jbcf.or.jp
電話：04-7189-0100 FAX：04-7189-0022
※電話による問い合わせは月曜日～金曜日の9:00～17:00までとします。
（レース開催日明けの月曜日は定休日となります）